

【Dysphasia in Parkinson's Disease】

パーキンソン病における嚥下障害では、先行研究で下記のような報告がなされております。

PDの最も多い死亡原因是誤嚥性肺炎である。

PDでは不顕性誤嚥のリスクが高い。

PDの病期進行中に約80%の患者が何らかの嚥下障害を発症する。

PDの重症度と嚥下障害の重症度は必ずしも相関関係に無い。



前述のようにPDではかなり早い段階から、嚥下機能低下の予兆が見られます。

SSPDでは特に生命に関わる嚥下機能低下の防止を重要項目に定めており、

言語聴覚士による初期評価→最低3ヵ月に1回程度の再評価を推奨しております。

これにより準備期～口腔期～咽頭期への進行を出来る限り抑制し、必要に応じて嚥下リハビリテーションの指導や食事形態の相談を看護師と協力して行います。